4．国立大学法人等業務実施コスト計算書関係

国又は地方公共団体からの出向者に係る引当外退職給付増加見積額　△ 8,140千円

5．退職給付に関する注記

⑴　採用している退職給付制度の概要

職員の退職給付に充てるため、非積立型の退職給付一時金制度を採用しております。

当該制度では、給与と勤務時間に基づいた一時金を支給しており、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

⑵　確定給付制度

①　簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

期首における退職給付引当金	303,058千円
退職給付費用	84,594千円
退職給付の支払額	△ 39,379千円
期末における退職給付引当金	348,273千円

②　退職給付に関する損益

簡便法で計算した退職給付費用	84,594千円

6．固定資産の減損に関する注記

⑴　減損を認識した固定資産

①　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

用途	種類	場所	帳簿価額
小中台西宿舎敷地	土地	千葉県千葉市稲毛区小仲台５－４	346,000千円

②　減損の認識に至った経緯

・小中台西宿舎敷地については、老朽化と耐震構造の不足のため、平成26年度末をもって使用しないという決定をしたため、減損を認識しております。

③　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

用途	種類	損益計算書に計上した金額	損益計算書に計上していない金額
小中台西宿舎敷地	土地	－円	88,000千円

④　減損の兆候の有無について、複数の固定資産を一体として判定した場合における、当該資産の概要及び当該資産が一体としてそのサービスを提供するものと認めた理由

・該当事項はありません。

⑤　回収可能サービス価額の算定方法

・小中台西宿舎敷地については、回収可能サービス価額は不動産鑑定士による評価額を採用しております。

⑵　減損の兆候が認められた固定資産（減損を認識した場合を除く）

①　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

用途	種類	場所	帳簿価額
電話加入権	電話加入権	千葉市稲毛区　外	1,937千円

②　認められた減損の兆候の概要

電話加入権については、正味売却価額が帳簿価額より大幅に下落しております。

③　固定資産の市場価格の回復の見込があると認められる根拠

電話加入権については、回収可能サービス価額が帳簿価額を上回ることから、減損を認識しておりません。

⑶　翌事業年度以降の特定日以降使用しないと決定した固定資産

用途	小中台東宿舎	小中台南宿舎	小中台北宿舎	轟町宿舎	青葉町宿舎	亥鼻宿舎	松戸宿舎
種類	土地・建物	土地・建物・構築物	土地	土地・建物	土地・建物	建物	建物
場所	千葉市稲毛区	千葉市稲毛区	千葉市稲毛区	千葉市稲毛区	千葉市中央区	千葉市中央区	松戸市
帳簿価額	1,001,188千円	630,751千円	240,000千円	316,814千円	69,372千円	24,066千円	11,357千円
使用しなくなる日	平成29年４月	平成29年４月	平成29年４月	平成29年４月	平成29年４月	平成29年４月	平成29年４月
使用しないという決定を行った経緯及び理由	注１	注１	注１	注１	注１	注３	注３
使用しなくなる日における帳簿価額	1,001,072千円	629,007千円	240,000千円	313,907千円	68,305千円	20,055千円	8,328千円
回収可能サービス価額	正味売却価額	正味売却価額	正味売却価額	正味売却価額	正味売却価額	備忘価額	備忘価額
減損額の見込額	注２	注２	注２	注２	注２	20,055千円	8,328千円

注１）　職員宿舎の老朽化と耐震構造の不足のため、当該建物とその敷地について使用廃止する決定がなされたため。

注２）　現時点において正味売却価額を算出・評価することは困難なため、減損額の見込額は記載しておりません。

注３）　職員宿舎の老朽化と耐震構造の不足のため、当該建物について使用廃止する決定がなされたため。